



令和4年6月30日

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」について、公募の結果、11件を採択しました

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」について、11件の事業の選定を決定しましたので、お知らせいたします（参考資料1）。

1. 目的

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業は、大学医学部における養成課程の段階から医師の地域偏在及び診療科偏在や高度医療の浸透、地域構造の変化等の課題に対応するため、将来、地域医療に従事しようとする意思をもつ学生を選抜する枠を活用し、地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点を構築することを目的としています（参考資料2）。

2. 審査結果

医学部を置く各国公私立大学長宛に公募を行い、18件の申請があり、「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会」における審査を踏まえ、この度、11件の事業を選定しました（参考資料1、3）。

3. 公表

(1) 公開ページの URL

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1387768_00002.htm

(2) 公開日

令和4年6月30日（木）

4. その他

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会（委員長：北村 聖（公益社団法人 地域医療振興協会顧問））から、今回の選定について所見が述べられました（別添資料1）。

<担当> 高等教育局医学教育課医学教育係
菊池、降旗
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-3306（直通）

(参考資料1)

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 選定結果一覧

申請件数:18件、選定件数:11件

No	区分	代表校名	連携校名	事業名
1	国	弘前大学	秋田大学	多職種連携とDX技術で融合した北東北が創出する地域医療教育コモンズ
2	国	筑波大学	東京医科歯科大学	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの養成
3	国	千葉大学	東邦大学	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム
4	国	富山大学	新潟大学	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成
5	国	名古屋大学	岐阜大学	医療人類学とバーチャル教育を活用した屋根瓦式地域医療教育(濃尾+A)
6	国	岡山大学	島根大学、鳥取大学、香川大学	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築
7	国	高知大学	三重大学、和歌山県立医科大学	黒潮医療人養成プロジェクト
8	国	長崎大学	熊本大学、鹿児島大学	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域と暮らしを支える医療人の育成～
9	国	宮崎大学	東京慈恵会医科大学	地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる 医師養成モデル事業 ～KANEH ROプログラム: 病気を診ずして病人を診よ～
10	国	琉球大学	佐賀大学	島医者・山医者・里医者育成プロジェクト(ER型救急・総合診療に対応できる医師育成)
11	私	埼玉医科大学	群馬大学	埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

令和4年度予算額

8億円
(新規)



課題・背景

- 新型コロナウイルス感染症を契機に、医療人に**求められる資質・能力が大きく変化**。
- 高齢化の進展による**医療ニーズの多様化**や**地域医療の維持**の問題が顕在化。
- 高度医療の浸透**や**地域構造の変化**（**総合診療医の需要の高まり、難治性疾病の初期診断・緩和ケアの重要性等**）により、従来の医師養成課程では対応できていない領域が発生、**新時代に適応可能な医療人材の養成**が必要。

事業内容

○ 医療ニーズを踏まえた地域医療等に関する教育プログラムを構築・実施

◆地域ニーズの高い**複数分野（総合診療、救急医療、感染症等）を有機的に結合させ横断的に学ぶことのできる教育**の実施により、地域医療のリーダーとなる**人材の育成**。

◆**地域医療機関での実習**等を通じて、

- ①地域の課題を踏まえた教育研究の実現や地域医療への関心を涵養
- ②専門に閉じない未分化・境界領域への対応力を涵養

◆**オンデマンド教材**等の教育コンテンツの開発

社会環境の変化に対応できる資質・能力を備えた医療人材養成のための教育プログラムの開発及び教育・研究拠点の形成

支援期間： 7年間
単 価： 0.7億円
件 数： 11拠点（拠点大学を中心に医学部を置く国公立大学間で連携・展開）



政策提言（経済財政運営と改革の基本方針2021）

第3章 感染症で顕在化した課題を克服する経済・財政一体改革

(1)感染症を機に進める新たな仕組みの構築

(略)あわせて、今般の感染症対応の検証や(略)潜在看護師の復職に係る課題分析及び解消、**医学部などの大学における医療人材養成課程の見直しや医師偏在対策の推進**などにより、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の整備を進める。

(参考資料3)

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会委員名簿
※ 五十音順 (敬称略)

あさり やすし 浅利 靖	北里大学医学部 医学部長
いちかわ まもる 市川 衛	広島大学医学部 客員准教授
いとう しょういち 伊藤 彰一	千葉大学大学院医学研究院 教授
きたむら きよし 北村 聖	公益社団法人地域医療振興協会 顧問
くつな さとし 忽那 賢志	大阪大学大学院医学系研究科・医学部 教授
しみず たろう 志水 太郎	獨協医科大学 主任教授
ながた しょう 永田 翔	青森県健康福祉部 部長
まえだ たかひろ 前田 隆浩	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
まえの てつひろ 前野 哲博	筑波大学医学医療系 教授

計 9 名

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会
ペーパーレフェリー名簿 ※ 五十音順 (敬称略)

すずき とみお 鈴木 富雄	大阪医科薬科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授
たご まさき 多胡 雅毅	佐賀大学医学部附属病院総合診療部 准教授
どい なおき 土肥 直樹	相模原市国民健康保険 内郷診療所 所長
はせがわ ひとし 長谷川 仁志	秋田大学大学院 医学教育学講座 教授
まつもと はるき 松本 晴樹	新潟県福祉保健部 部長

計 5 名

(令和 4 年 6 月 1 日現在)

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会 所見

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域における医療体制の見直しや医師の地域偏在及び診療科偏在を解消する重要性が再認識されるとともに、高度医療の浸透や地域構造の変化を踏まえた新時代に適応可能な医療人材の養成といった課題が浮き彫りとなりました。これらの課題解消に資するため、地域にとって必要な医療を提供することができる医師を養成するための学生への学部段階からの動機づけ・資質能力の育成を図る実習・講義等の教育プログラムの更なる充実が求められています。

本事業は、大学医学部における養成課程の段階から医師の地域偏在及び診療科偏在や高度医療の浸透、地域構造の変化等の課題に対応するため、地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点を構築することを目的として、公募を行いました。

公募の結果、申請のあった18件の事業において、全体構成や教育プログラム・コースの優秀性、事業の運営体制・連携体制及び事業の継続・成果の普及に関する構想の妥当性等について、本委員会による書面審査、面接審査、合議審査を実施し、特に優れた11件の事業を選定しました。

今回、選定された大学は各取組とも、実現性が高く、創意工夫されたものとなっておりますが、本委員会が指摘した改善に関する所見を踏まえた着実な改善に取り組んでいただくとともに、事業計画を確実かつ迅速に実行していただきたいと考えます。

また、選定された各大学には、我が国における医療の質向上を担う取組を実施するという決意を持って、取り組んでいただくとともに、下記の点を期待します。

- ・低学年からの取組を積極的に進めるとともに、常に先進的・革新的な取組内容となるよう自己点検・評価のみならず、医療現場・自治体等のニーズを取り入れるための努力を欠かさないこと
- ・全国の拠点が一体となったフォーラムの開催等により、事業の定期的な評価や成功事例の共有などを行うこと。そして事業の目的に合わせ、適切な対象に成果を発信する広報戦略を立てること
- ・代表校のみならず連携校も含め、長期的な展望に基づく具体的な事業継続方針を策定の上、補助期間終了後は、成果の波及とともに更に発展的な取組と

して実施できるよう自走化に向けた取組を工夫して取り組むこと

一方、今回、特徴的なプログラムであっても、事業の構想・計画の具体性の観点等から、相対比較の結果、残念ながら選定に至らなかった取組がありました。選定されなかった各大学においても、申請いただいた事業に対する本委員会の所見をお伝えしますので参考にさせていただくとともに、今後も本事業の趣旨を生かした人材育成に取り組んでいただくことを強く期待します。なお、今回の教育プログラムについては、オンラインコンテンツの作成などが含まれておりますが、大学等における遠隔授業の取扱いについては、大学設置基準第25条第2項等の規定及び事務連絡でお伝えしている学修者本位の授業の実施について充分御理解の上、実施をお願いします。

終わりに、我が国の医学医療の発展にとって、「地域にとって必要な医療を提供することができる医師」を育成することは非常に大切なことと考えています。今後も各大学における教育プログラムがさらに充実、拡充されることを希望しております。

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定委員会
委員長 北村 聖